



防災等

酒井 信幸

問 宮城県では、千年に一度規模の豪雨を想定して、県管理の32河川で洪水想定区域の見直しを進めている。岩沼市と県との連携は取れているのか。

総務部長 市民の安全を守るため、国や県等の関係機関と連携をしっかりと行い対応したいと思います。

問 県の見直しで、上流の白石川は2日間の最大雨量282ミリから465ミリに引き上げた。県の改定で市はどのような対応を行うのか。

総務部長 県が管理する河川の雨量について改定を行っていますので、改正の必要は考えていません。

問 5月に町内防災担当者説明会が行われた。昨年の総合防災訓練には45の町内会、自治会が参加して訓練を行ったが、今回の訓練には何団体が参加するのか。

防災課長 今回は、53の町内会、自治会が参加します。

問 53の町内会、自治会は、安全な場所に避難してから指定避難所へ逃げるのか、自宅で垂直避難をするのかどのくらいの割合か。

防災課長 多くの町内会が指定避

難所の小中学校などに避難しますが、東部道路の非常階段に避難するところもあります。

地域対象の避難訓練を！

問 市全体ではなく、阿武隈川の堤防決壊を想定した地域の住民を対象とした避難訓練を行うべきではないか。

市長 洪水に対する避難訓練は阿武隈川も意識して行っていますので、訓練としては全地域を対象に行っています。経過や上流の状況を見ながら対応していきます。

問 マンションや高いビルなどの民間施設を指定緊急避難場所として、市民が一時的に避難できる場所を確保するべきと思うがどうか。

総務部長 民間の施設を指定すると、不特定多数の方が避難されるので、民間施設の指定は考えていません。まず、想定される被害状況の情報をいち早く市民にお知らせします。危険が大きければ、高い公共施設に早く避難していただきたいと思います。



教育の取組

渡辺 ふさ子

問 教育勅語に対する見解と、道徳教育に教育勅語を取り入れる考えはあるか伺う。

教育長 教育勅語は1948年、衆議院と参議院において排除、失効の決議がなされています。道徳への取り入れは考えていません。

問 中学校の武道に銃剣道を選択する考えはあるか。

教育長 各学校の判断があれば支援したいと思います。今のところ出ていません。

問 教員の勤務時間実態を伺う。

学校教育課長 年度初めや年度末、中学校総合体育大会前の時期に増えます。80時間以上が小学校は4〜5名、中学校は15名、最高時間で110時間です。大会後は減少しますが、生徒指導上の問題がある場合は、何人かはいます。過労死ラインとは捉えていませんが、在校時間記録簿を毎月提出していただき、教員や校長の判断で産業医に提出、面談を行っています。

問 事務職員の配置で、教員の業務を軽減する考えはあるか。

教育長 (配置で) 軽減はできず、

中身の軽重バランスが必要です。

問 平和教育の取り組みとして、被爆者の話を取り入れてはどうか。

教育長 デジタル教科書(写真や動画を含む)やICT教材もあり、考えていません。

語り部のお話を聞いては

問 (戦争体験を伝える) 語り部活動をしている退職女性教職員の「宮城白萩の会」のお話を聞く機会を考えてはどうか。

教育長 各学校で考えがあれば支援をしたいと思っています。

問 命を育む自然環境の学びとして、ドングリの生態を学ぶ機会を学校教育に取り入れてはどうか。

教育長 教科外の活動でやるしかないと思いますが、今のところは、考えていません。各学校から申し出があれば、支援したいと思っています。校長会等を通じて話し合いを試みたいと思います。

◎その他の一般質問

・上上下水一体官民連携運営の検討(みやぎ型管理運営方式の構築)